

## 2026（令和8）年度入学試験問題

# 世界史

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 試験時間は60分です。
3. この問題の本文は全部で26ページです。
4. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
5. 解答は、設問に従って、該当する解答欄にマークしてください。なお、すべてマーク解答問題です。解答にあたっては、必ず黒の鉛筆またはシャープペンシルを使用してください。
6. 解答用紙に記入するときには、下記の点に注意してください。
  - (1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し、該当するマーク欄を正確にマークすること。  
(機械処理上、非常に重要なので誤記のないよう注意してください。)
  - (2) 解答科目欄は、解答する科目を一つ選び科目の下のマーク欄を正確にマークすること。  
マークされていない場合または複数の科目にマークされている場合は、無効となります。
  - (3) 訂正する場合は、プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。
  - (4) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。
  - (5) 解答用紙は、折り曲げたり汚したりしないこと。
  - (6) 解答用紙の解答欄をマークするときは、次の(例)のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

(例) ③と解答する場合

マ ー ク 解 答 欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

7. 問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。



- 【 以下の古代オリエントおよび東地中海世界に関する文章A～Dを読んで、〔設問1〕～〔設問20〕に答えなさい。解答は解答欄  ～  にマークしなさい。

A ティグリス・ユーフラテス両河川流域のメソポタミアでは、古くから農耕と牧畜が営まれていた。降雨に依存する乾地農業からやがて河川を利用した灌漑<sup>(1)</sup>農業が行なわれるようになると、人口が急速に増加し、前3000年頃にはシュメール人によってウル、ウルク、ラガシュなどの都市国家がたてられた。ウルの発掘調査からは、この都市が高さ約8メートル、幅約25メートルの城壁で囲まれ、その内側には職業や社会階層ごとに設定された居住区域が存在していたことがわかっている。周辺の集落を支配する都市国家には富が集中し、シュメール文化が発展した。<sup>(2)</sup>

前24世紀半ばに、シュメール人の都市国家は  人によって征服された。 人はメソポタミアからシリアまで西アジアの地域を広範囲に支配したが、前22世紀にはその勢力は衰えた。その後、 人がメソポタミアに押し寄せ、前19世紀初めにバビロンを都としてバビロン第1王朝を建て、前18世紀に即位したハンムラビ王の治世にメソポタミア全土を支配した。王は大規模な治水・灌漑事業を進めたほか、『ハンムラビ法典』を制定した。法典を<sup>(4)</sup>刻んだ石碑には、ハンムラビ王が「国土に正義を<sup>あらわ</sup>顯すために、悪しき者<sup>よこしま</sup>邪なる者を滅ぼすために、強き者が弱き者を虐げることがないために」神によって召命されたと記されており、この法典の意図が神の代理人である王による正義の実現にあったことがわかる。その後、バビロン第1王朝が前16世紀初めに<sup>(5)</sup>滅ぶと、オリエントでは数世紀のあいだ諸王国が並立する状況が続いた。

(文中の「」内は中田一郎『ハンムラビ王 法典の制定者』山川出版社、2014年、71頁から引用)

〔設問1〕 下線部(1)に関連して、メソポタミアのような乾燥地帯では、灌漑の技術は作物の収穫量を増大させる一方で、過度な灌漑による塩害の発生は農地の荒廃や砂漠化にもつながった。これは、人類の活動が自然環境を変え、環境破壊をもたらす可能性があることを示す例と言えるだろう。20世紀後半以降、人類は地球規模で進む環境悪化の解決にむけて取り組んでいるが、1992年に「環境と開発に関する国連会議」(地球サミット)が開かれた都市の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 1** にマークしなさい。

- ①京都    ②コペンハーゲン    ③パリ    ④モントリオール
- ⑤リオデジャネイロ

〔設問2〕 下線部(2)に関連して、シュメール文化についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 2** にマークしなさい。

- ①青銅器が用いられた。
- ②彩文土器が作られた。
- ③階段状の神殿ジグuratが建てられた。
- ④1年を365日とする太陽暦が用いられた。
- ⑤六十進法が考案された。

〔設問3〕 空欄 **3 a** ・ **3 b** に入る名称の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、**解答欄 3** にマークしなさい。

- ① a アッカド    b アムル
- ② a アッカド    b カナーン
- ③ a アムル    b アッカド
- ④ a アムル    b カナーン
- ⑤ a カナーン    b アッカド
- ⑥ a カナーン    b アムル

〔設問4〕下線部(4)に関連して、『ハンムラビ法典』についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **4** にマークしなさい。

- ①各地の慣習法を体系化した成文法である。
- ②同害復讐の原則がみられる。
- ③罰則の規定は身分にかかわらず一律である。
- ④1901年にスサで発掘された石柱には楔形文字で記されていた。

〔設問5〕下線部(5)に関連して、前16世紀～前14世紀のオリエントについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **5** にマークしなさい。

- ①アナトリアに強大な国を建てたヒッタイト人が、バビロン第1王朝を滅ぼした。
- ②メソポタミア北部にカッシートがおこり、西方のシリアに領土を拡大した。
- ③ヒクソスの侵入を退けたエジプトでは、古王国が成立した。
- ④ミタンニがメソポタミア南部に侵入し、バビロン第1王朝滅亡後の同地域を支配した。

B 地中海東部地域では、前3千年紀後半から海上交易が行なわれるようになった。エーゲ海周辺の小アジア半島西部からギリシア本土や島嶼部にかけての地域ではエーゲ文明が誕生し、前12世紀頃まで続いた。初期のエーゲ文明は、言語系統の明らかでないミノア人によって担われており、ギリシア本土とキクラデス諸島で前2000年頃に突然終焉を迎えたが、クレタ島では文明は衰退せず、それ以降、初期の文明を継承しつつも新たな文明が栄えた。このクレタ文明<sup>(6)</sup>は、大規模な建築技術による宮殿の造築、文字を使用した財政制度、宗教的権威をもつ王による祭祀制度など、それまで同地ではみられなかった特徴をもっていた。これらを根拠に、クレタ文明へのメソポタミア文明の影響が指摘されている。発掘調査によれば、クレタ島各地の宮殿には前1500年頃に破壊された

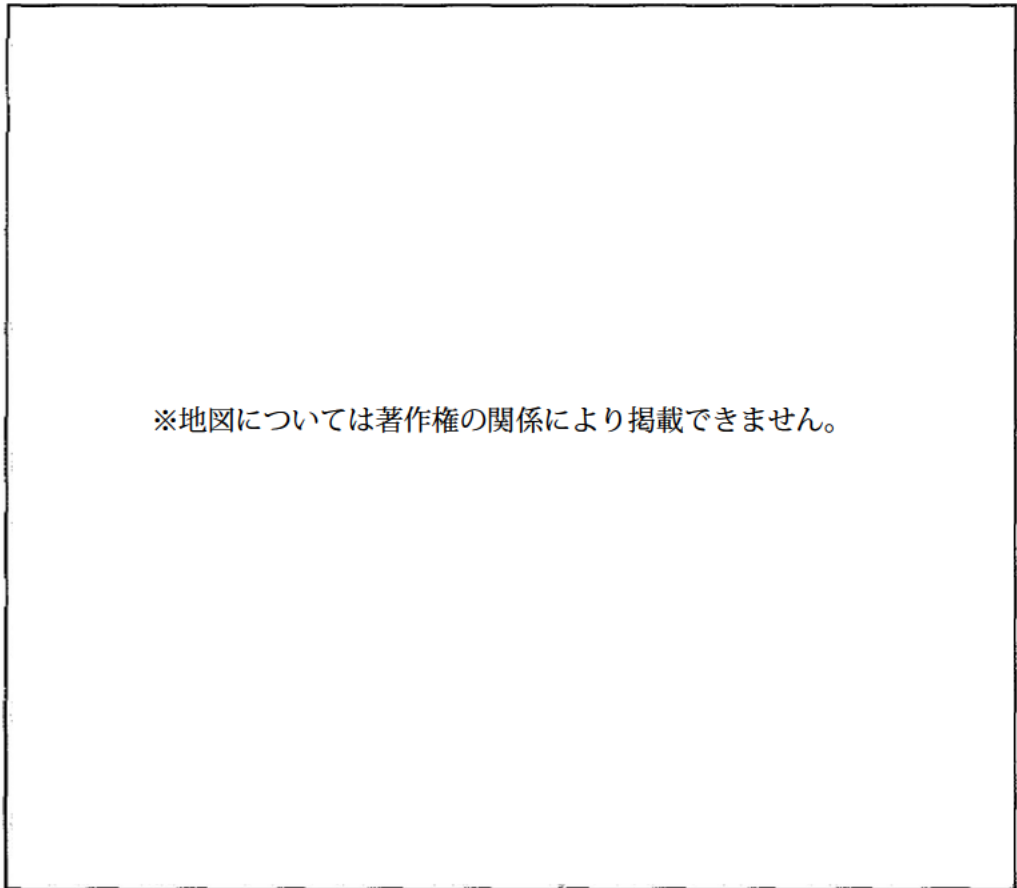
痕跡が残されており、この頃を機にエーゲ文明の中心はギリシア本土のペロポネソス半島へ移ったとみなされている。

ギリシア本土では初期のエーゲ文明がいったん途絶えたのち、クレタやオリエントの影響を受けて前1600年頃から、インド-ヨーロッパ語系の言語を用いる人びとによってミケーネ文明<sup>(7)</sup>が生み出された。各地に宮殿を中心とする小王国が形成され、そこでは王が官僚制度を用いて地方の農産物や手工業品を宮殿に集め、それらを再配分していたと考えられている。また、19世紀後半にドイツのシュリーマン<sup>(8)</sup>がミケーネの宮殿から発掘した遺物には、バルト海原産の琥珀<sup>(9)</sup>の装身具やダチョウの卵殻を使った容器などが含まれていることから、ミケーネ人の交易圏がエーゲ海地域のみならず、ヨーロッパ北部やアフリカにまで至っていたことがわかる。ミケーネ文明の諸王国は、前12世紀にあいついで崩壊した。その理由は、気候変動など複合的なものだと考えられているが、明確にはわかっていない。こののち、ギリシアは前8世紀<sup>(10)</sup>まで約400年にわたる混乱期に入った。

〔設問6〕 下線部(6)に関連して、クレタ文明を代表するクノッソス宮殿についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄  にマークしなさい。

- ①クノッソス宮殿は城壁がなく、複雑な構造をしていた。
- ②クノッソス宮殿から発掘された粘土板に刻まれた文字のうち、線文字Bはシャンポリオンによって解読された。
- ③クノッソス宮殿の彩色壁画は、開放的な海洋文明の特徴を示している。
- ④クノッソス宮殿はイギリスの考古学者エヴァンズによって発掘された。

〔設問7〕 下線部(7)に関連して、この文明の中心地とされているミケーネを示す場所はどれか。もっとも適するものを以下の地図の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 7** にマークしなさい。



〔設問8〕 下線部(8)に関連して、この人物は考古学の道に進む以前は実業家として活躍し、クリミア戦争時にはロシアとの軍需品取引で成功をおさめた。クリミア戦争の講和条約の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 8** にマークしなさい。

- ①サン-ステファノ条約    ②トルコマンチャーイ条約    ③パリ条約
- ④ベルリン条約    ⑤ロンドン条約

〔設問9〕 下線部(9)に関連して、11世紀以降、中世ヨーロッパで遠隔地交易がさかんになると、バルト海および北海沿岸では木材、海産物、毛皮、穀物などを取引する北ヨーロッパ商業圏が形成された。交易にたずさわる有力諸都市はハンザ同盟を結成して相互の利益をはかった。ハンザ同盟の盟主として栄えた都市の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 9** にマークしなさい。

- ①ダンツィヒ    ②ハンブルク    ③ブレーメン    ④リガ  
⑤リューベック

〔設問10〕 下線部(10)に関連して、この頃からギリシア各地では都市国家ポリスが成立した。代表的なポリスであるアテネについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄 10** にマークしなさい。

- ①ドーリア人によって建てられた。  
②前7世紀にドラコンにより成文法が作成された。  
③前6世紀初めにクレステネスによる改革が行なわれた。  
④前508年にペイシストラトスによる改革が行なわれた。

C 東地中海沿岸のシリア・パレスティナ地域は、古くからメソポタミアとエジプトおよび地中海を結ぶ交易上の要地であった。前13世紀に激しい民族移動による動乱のなかで、エジプトやヒッタイトによるこの地方への支配が衰えると、前12世紀頃(11)からセム語系諸集団の活動が活発になった。そのうちフェニキア人は、シドン、ティルスなどの都市国家を築いて地中海交易にたずさわり、北アフリカに植民都市としてカルタゴを建設した。また、アラム人はダマスクスを中心(12)に大規模な隊商を組織して内陸で交易活動を行なった。その活動範囲は中央アジアにまで達し、アラム語はオリエン特で広く用いられる国際商業語となった。そして、前1500年頃にパレスティナに定住していたヘブライ人は、(13)前11世紀にエルサレムを都としてヘブライ王国を建てた。王国は前10世紀に最盛期を迎えたが、ソロモン王の死後に南北に分裂した。

[設問11] 下線部(1)に関連して、エジプトについての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄 11** にマークしなさい。

- ①新王国の滅亡後、ナイル川流域のスーダン地方におこったアクスム王国が前8世紀なかごろにエジプトを征服した。
- ②前13世紀にエジプトのアメンホテプ4世は、シリアに進出したヒッタイトとカデシュで戦った。
- ③前14世紀に、エジプトの都は一時的にメンフィスに移された。
- ④古王国時代のエジプトでは、クフ王のピラミッドが建築された。

[設問12] 下線部(2)に関連して、カルタゴはのちに前3世紀～前2世紀に、地中海西方の制海権をめぐるローマと衝突し、滅亡した。この戦争によりローマがカルタゴから獲得した地域として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 12** にマークしなさい。

- ①シチリア    ②ダキア    ③サルディニア    ④ヒスパニア南部
- ⑤コルシカ

[設問13] 下線部(3)に関連して、ヘブライ人についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、**解答欄 13** にマークしなさい。

- ①ヘブライ王国から分裂したイスラエル王国は、新バビロニア王国に滅ぼされた。
- ②ヘブライ王国から分裂したユダ王国は、フェニキア人に滅ぼされた。
- ③古代オリエントでは多神教の民族が多かったが、ヘブライ人は唯一神ヤハウェを信仰するようになった。
- ④バビロン捕囚から解放されたのち、ヘブライ人はイェリコに神殿を再興し、ユダヤ教を確立した。

D メソポタミア北部は小アジア地方との交易がさかんな地域であった。なかでもティグリス川中流域の都市アッシュールは、小アジアとバビロニア地方を結ぶ交易に従事するアッシリア人の活動の拠点であった。アッシリア人は前19世紀にこの地にアッシリア王国を築き、外部勢力の脅威にさらされながら盛衰を経た。アッシリアは前9世紀頃には鉄製の武器、戦車、騎馬隊などを用いて勢力を伸ばし、あらたに [ 14 ] に都を置き前7世紀前半にはオリエント全土を征服した。だが、その支配は長くは続かず、最大版図を達成したアッシュルバニパル王の死後、アッシリアは前612年に滅亡した。

その後、オリエントには4王国<sup>(15)</sup>が分立する時代が続いたが、前6世紀半ばにインド-ヨーロッパ語族の民族でイラン高原南部に居住していたペルシア人の [ 16 a ] がふたたびオリエントを統一し、アケメネス朝ペルシアを建てた。アケメネス朝は前522年に即位した [ 16 b ] の時代に最盛期をむかえ、その領土はエジプト、エーゲ海沿岸からインダス川流域にまでおよんだ。アッシリアとは異なり、アケメネス朝による統治<sup>(17)</sup>は、領土内の服属民にたいして寛容な態度をとりつつ中央集権化を強化した点に特徴があった。オリエントに君臨したアケメネス朝は、前5世紀前半にギリシアとの戦争<sup>(18)</sup>に敗れたのち、勢力の衰えるなか前330年にマケドニアの王アレクサンドロス<sup>(19)</sup>によって滅ぼされた。アレクサンドロスは東方遠征をつうじて西北インドにまで達する大帝國を築き、彼の死後、その領土は後継者を称する部下たちにより争われ、分裂した。<sup>(20)</sup>

[設問14] 空欄 [ 14 ] に入る地名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 [ 14 ] にマークしなさい。

- ①ニネヴェ    ②サルデス    ③エクバタナ    ④ビブロス  
⑤ハットウシャ

[設問15] 下線部(15)に関連して、4王国のなかで世界史上はじめて金と銀の合金による貨幣を造った国はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 [ 15 ] にマークしなさい。

- ①アラム    ②エジプト    ③新バビロニア    ④メディア    ⑤リディア

〔設問16〕 空欄 **16 a** ・ **16 b** に入る名称の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑧の中から一つ選び、**解答欄**

**16** にマークしなさい。

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ① a キュロス2世    | b ダレイオス1世   |
| ② a キュロス2世    | b ダレイオス3世   |
| ③ a ネブカドネザル2世 | b ダレイオス1世   |
| ④ a ネブカドネザル2世 | b キュロス2世    |
| ⑤ a ダレイオス1世   | b ダレイオス3世   |
| ⑥ a ダレイオス1世   | b ネブカドネザル2世 |
| ⑦ a ダレイオス3世   | b キュロス2世    |
| ⑧ a ダレイオス3世   | b ネブカドネザル2世 |

〔設問17〕 下線部(17)に関連して、アケメネス朝の出来事についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **17** にマークしなさい。

- ①版図内の異民族に貢納と軍役を課した。
- ②領土を20の州に分割して知事を置いた。
- ③公道や駅伝制を設け、交通網を整備した。
- ④あらたにスサを建て祭儀の中心とした。
- ⑤異民族の交易活動を保護した。

[設問18] 下線部(18)に関連して、この戦争中に発生した出来事 a ~ e を時系列順に並べたものとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①~⑥の中から一つ選び、解答欄 **18** にマークしなさい。

- a 小アジア半島のギリシア人諸都市がアケメネス朝の支配に対して反乱を起こした。
- b サラムスの海戦でギリシア連合軍がアケメネス朝軍を破った。
- c アケメネス朝の再侵攻に備えてデロス同盟が結成された。
- d マラトンの戦いでアテネがアケメネス朝軍を破った。
- e プラタイアの戦いでギリシア側が勝利した。

- ① a - b - d - e - c
- ② a - b - e - d - c
- ③ a - d - b - e - c
- ④ a - d - e - b - c
- ⑤ a - e - b - d - c
- ⑥ a - e - d - b - c

[設問19] 下線部(19)に関連して、アレクサンドロスは自らの名にちなんだ都市を各地に建てた。このうちエジプトのアレクサンドリアはヘレニズム時代の経済と文化の一大中心地となり、大図書館をもつ研究所では数々の著名な学者が活躍した。ヘレニズム時代の人物として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①~⑤の中から一つ選び、解答欄 **19** にマークしなさい。

- ① エウクレイデス      ② アルキメデス      ③ エラトステネス
- ④ アリストアルコス      ⑤ ピタゴラス

〔設問20〕 下線部(20)に関連して、アレクサンドロス没後に建てられた諸国家についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **20** にマークしなさい。

- ①セレウコス朝の支配領域からバクトリアとパルティアが自立した。
- ②バクトリアは『史記』において安息と記されている。
- ③パルティアの都クテシフォンはササン朝の都ともなった。
- ④プトレマイオス朝は前30年に滅亡した。

- II 以下のジョン=メイナード=ケインズの生涯に関する文章を読んで、〔設問21〕～〔設問35〕に答えなさい。解答は解答欄 21 ～ 35 にマークしなさい。

ケインズは1883年に生まれた。奇しくも、資本主義社会の運動法則を分析し、資本-賃労働関係における労働者の搾取にそこでの社会問題の原因を見出した 21 の亡くなった年である。

ケインズの父は論理学の入門書と経済理論を概観した書物を著した人である。このうち論理学の入門書は、第一次世界大戦時に反戦の姿勢を貫き第二次世界大戦後にはアインシュタインとともに核兵器と核戦争の危険を訴えた 22 に影響を与えた。父は教授になれたはずの人だったが、ケンブリッジ大学の事務機構に転職し、その長にまで出世した。ケインズの母は当時珍しく大学を卒業した女性であった。彼女の父はバプテスト派の牧師でバンヤン論を書き、イエール大学から名誉博士号を送られた人である。彼女自身はイギリス国内で地域の政治家として大成功をおさめ、1932年にはケンブリッジ初の女性市長に選ばれている。

ケインズはインド省に勤めた後に紆余曲折を経てケンブリッジ大学キングズ-カレッジのフェローとなった。第一次世界大戦の終結後に重要な人物として政府に請われ、講和会議に参加するイギリス代表団の一員となった。しかし、ドイツに対する賠償金の設定をめぐる嫌悪感を覚え、抗議の意志を表すために職を辞し、イギリスに帰国した。そして『平和の経済的帰結』を著して一躍有名となる。この小冊子においてケインズはアメリカ合衆国（以下、アメリカ）大統領ウィルソンについて、たえず道徳を振りかざしやたらとおごそかな言葉を使った 27 がる人物として、以下のように厳しく批判している。オデュッセウスのように、この大統領は腰掛けている時のほうが知的に見えた。しかし、計画も、戦略も、建設的なアイデアも持ち合わせていない。

ケインズに言わせれば、ドイツに対する天文学的な賠償金を要求しても、それは機能しない。その巨額の支払いを支える原資はどこから来るのか、と問うた。実際のところ、ドイツにとって原資となるのはこの賠償金と同額の貿易黒字である。しかし、工業大国であったドイツといえども、この賠償金を賄うのに輸出だけではまったく足りなかった。だが、仮にドイツの輸出が伸びて賠償金の支払い

を可能にしたとして、そのことは同時にイギリスやフランスが市場のシェアをドイツに奪われることも意味する、とケインズは考えた。つまり、ドイツに対する巨額の賠償金請求はイギリスとフランスの国内における雇用を失う事態を招来する恐れがある、と警告したのである。

さて、ケインズの警告にもかかわらず、ドイツは巨額の賠償金を課され、これを支払っていった。だが、そもそもこの賠償金をイギリスやフランスが必要としたのは、両国とも戦時負債を抱えていたからである。まず、フランスはイギリスに対して戦時負債の返済が必要になっていた。そして、イギリスはアメリカに巨額の負債を負っていた。では、<sup>(29)</sup> 実際の賠償金の支払いはどのように行なわれたか。ドイツにアメリカから投資がなされ、それに基づいて産業復興が起き、輸出が促進され外貨が獲得されたことで、ドイツはイギリスとフランスへの賠償金の支払い原資を得ることができたのである。そして、この賠償金がフランスからイギリスへの負債の返済やイギリスのアメリカに対する負債の返済に充てられた。このため、最終的にアメリカがドイツの賠償金を拠出していた、という評価がなされることもある。

若い頃のケインズには男性の恋人がいたが、<sup>(30)</sup> 当時は同性愛が犯罪とされて厳罰に処されたために、それを秘匿するほかなかった。この恋人たちを通じて知り合ったのが、「ブルームズベリー」グループの芸術家たちである。彼はそこで出会ったロシア人のバレリーナと結婚した。彼女は正式な学校教育を一度も受けていないにもかかわらず、独創的で知的な人物であったという。ケンブリッジ大学出身者の男性がこのグループの大半を占めるというエリート的空間において、彼女の存在は異色であったが、ケインズは彼女のことを極めて高く評価し、愛したのであった。

新婚旅行先は彼女の姉妹を訪問するため<sup>(31)</sup> ソヴィエト連邦（以下、ソ連）を選んだ。しかし、ケインズは当時のソ連の体制を嫌悪しており、共産主義にはエリート主義的な価値観ゆえに共感せず、21についてもその思想に対して軽蔑する発言を繰り返した。また、ロシアの共産主義といえども「ユダヤ人の強欲までは鎮められないだろう」などという<sup>(32)</sup> 「ユダヤ人」への差別発言もみられた。

さて、イギリスは第一次世界大戦の影響でしばらく金本位制から離脱していた

が、1925年に大蔵大臣 **33 a** のもと第一次世界大戦前の為替水準で金本位制に復帰した。上述のような復帰の仕方をするるとイギリス通貨ポンドが過大に評価されて輸出産業に不利となること、それへの対応で輸出産業において強烈的な賃金引き下げ圧力と大量の失業が生じることに、ケインズは危惧を抱いていた。彼は金本位制復帰後も一貫してその非合理性を強く批判した。イギリスは世界恐慌の発生後に **33 b** 内閣のもとで金本位制から離脱する。

人びとは当初、世界恐慌はいずれ過ぎ去るだろうと考えていた。しかし実際には深刻な銀行危機に移行していった。金本位制が崩壊し、賠償金の支払いも停止した。ケインズはそれへの対応として金融政策だけでは限界があると考え、財政出動と組み合わせることを構想した。それが1936年の『雇用・利子および貨幣の一般理論』<sup>34</sup>の刊行につながる。

ケインズは1937年以降、命に関わる重篤な病に冒されていた。それでも、彼は第二次世界大戦後の国際通貨体制の構築などに尽力した。彼が金本位制に代わるものとして構想したのは、国際清算同盟という国際的な中央銀行であった。決済はバンコールという通貨で行なわれ、各国通貨とは固定の為替レートで結ばれるものであった。そして、巨額の貿易赤字を計上した国は通貨切り下げを、巨額の貿易黒字を計上した国は通貨切り上げを強制されるものとして、貿易黒字国が近隣諸国を窮乏化させることを防ごうとした。実際にはこのケインズのプランは実現せず、ブレトン-ウッズ会議において採用されたのは金-ドル本位制<sup>35</sup>であった。

[設問21] 空欄 **21** に入る人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **21** にマークしなさい。

- ①ルイ=ブラン    ②サン=シモン    ③オーウェン    ④マルクス  
⑤フーリエ

[設問22] 空欄 **22** に入る人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **22** にマークしなさい。

- ①フロイト    ②トーマス=マン    ③ラッセル    ④サイード  
⑤デューイ

[設問23] 下線部(23)に関連して、この人物の著作の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **23** にマークしなさい。

- ①『天路歷程』    ②『ロビンソン=クルーソー』    ③『失楽園』  
④『ガリヴァー旅行記』    ⑤『プリンキピア』

[設問24] 下線部(24)に関連して、イギリス下院議会において男女の差別なく21歳以上に選挙権が認められた年はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **24** にマークしなさい。

- ①1884年    ②1893年    ③1918年    ④1920年    ⑤1928年

[設問25] 下線部(25)に関連して、イギリス領インド帝国の初代皇帝は誰か。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **25** にマークしなさい。

- ①エリザベス1世    ②アン女王    ③ヴィクトリア女王    ④メアリ1世  
⑤メアリ2世

[設問26] 下線部(26)に関連して、この大戦の勃発のきっかけとなった1914年6月28日の事件の起きた都市を領域に含んでいたのはどの国であったか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **26** にマークしなさい。

- ①ブルガリア王国    ②オーストリア=ハンガリー帝国    ③セルビア王国  
④ルーマニア王国    ⑤ドイツ帝国

[設問27] 下線部(27)に関連して、ウィルソンの事績についての記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **27** にマークしなさい。

- ①棍棒外交を推進した。
- ②国際連盟にアメリカを加入させた。
- ③ドイツが無制限潜水艦作戦に踏み切ると参戦を決意した。
- ④十四か条の平和原則において軍備の拡大を主張した。

[設問28] 下線部(28)に関連して、この知将の事績を描いた叙事詩「イリアス」・『オデュッセイア』に登場するオリュンポス12神のうち、美と愛の神の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **28** にマークしなさい。

- ①ゼウス    ②アフロディテ    ③アポロン    ④ヘルメス
- ⑤アルテミス

[設問29] 下線部(29)に関連して、この際の賠償金の支払方式についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **29** にマークしなさい。

- ①ドーズ案では、賠償金について年次ごとに支払うべき金額が当面の間については低く設定するものとされた。
- ②ドーズ案により、アメリカの民間資本のドイツへの投資が促された。
- ③ヤング案では、賠償金の支払総額が削減された。
- ④フーヴァー--モラトリアムにより、賠償金の支払いが5年間停止されることになった。

[設問30] 下線部(30)に関連して、同性愛を犯罪とすることについては、イギリス国内でもかつてからこれに反対する議論があった。このような主張をした人物のひとりに、功利主義の主張をしたことで有名な思想家がいる。この人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **30** にマークしなさい。

- ①デカルト    ②ベンサム    ③カント    ④ニーチェ    ⑤ルソー

[設問31] 下線部(31)に関連して、1930年までにソ連を承認した国として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **31** にマークしなさい。

- ①日本    ②アメリカ    ③イギリス    ④ドイツ    ⑤フランス

[設問32] 下線部(32)に関連して、「ユダヤ人」についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **32** にマークしなさい。

- ①14世紀のペスト流行の際、ユダヤ人はヨーロッパ各地で迫害を受けた。  
②19世紀後半のロシアではポグロムが起き、多くのユダヤ人がアメリカなどの外国に逃れた。  
③19世紀末のドレフユス事件をきっかけとして、ゾラによってシオニズムが提唱された。  
④第二次世界大戦時のドイツ支配下において、ユダヤ人に対して行なわれた組織的な大量虐殺は「ホロコースト」として知られているが、ユダヤ人自身は「ショア」と呼ぶ。

[設問33] 空欄 **33 a** に入る人物は、後に「鉄のカーテン」演説で知られることとなる。**33 b** に入る人物は、1931年に挙国一致内閣を組織している。**33 a** ・ **33 b** に入る人物の名の組み合わせとして正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 **33** にマークしなさい。

- ① a ロイド=ジョージ      b マクドナルド
- ② a ロイド=ジョージ      b チャーチル
- ③ a マクドナルド          b ロイド=ジョージ
- ④ a マクドナルド          b チャーチル
- ⑤ a チャーチル              b ロイド=ジョージ
- ⑥ a チャーチル              b マクドナルド

[設問34] 下線部(34)に関連して、この年に起きた出来事についての記述として 誤っているもの はどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **34** にマークしなさい。

- ① 盧溝橋で日中両軍が衝突した。
- ② 日独防共協定が締結された。
- ③ 二・二六事件が起きた。
- ④ ドイツがラインラントに進駐した。

[設問35] 下線部(35)に関連して、金-ドル本位制についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **35** にマークしなさい。

- ①この制度は、ドルを基軸通貨とする固定相場制である。
- ②この制度による各国の為替相場の安定化を任務として、国際通貨基金が設けられた。
- ③この制度は、ベトナム戦争による膨大な戦費支出などのためにドル危機が深刻化したことで動揺した。
- ④この制度におけるドルと金の交換は、アメリカ大統領ジョンソンによって一時停止された。

Ⅲ 以下の東南アジアの歴史に関する文章を読んで、〔設問36〕～〔設問50〕に答えなさい。解答は解答欄 **36** ～ **50** にマークしなさい。

東南アジアから思い浮かべるイメージとは何だろうか。きれいな海や熱帯雨林に象徴される豊かな自然という観光地のイメージが挙げられるかも知れない。日本で販売されている様々な製品に記された国ぐにの名前を思い浮かべる人もいるかも知れない。ASEAN<sup>(36)</sup>という言葉に象徴されるような、国家間の政治的なつながりを見る機会も多い。日本との関係で言えば、アジア太平洋戦争の時代、戦場となった東南アジアの地域名称を知っている人もいるだろう。最近では東南アジア料理の専門店なども増え、以前よりも身近に感じられるようになっている。

だが、「東南アジア」とはいったいどこからどこまでなのか、その地域にはどのような人びとが住んでいるのか、といったことは、日本に住む私たちにとって必ずしも自明ではない。東南アジアと一言でいってもひとくくりにはできない多様な文化や宗教を育む社会が存在している。東南アジアの古代から近代への歴史はもとより、それ以降の植民地支配とこれに抵抗する民族運動の歴史<sup>(37)</sup>についても、私たちは多くを知らない。また、戦争や戒厳令<sup>(38)</sup>など人命を失わせ人権を抑圧する事態を生んだ過酷な現代史の流れについても、日本で大きな関心を集めているとは言い難い。

現在の東南アジアに関する研究には、東南アジアを大陸部と島嶼部<sup>しよ</sup>に分ける見方がある。ここで言う「大陸部」とは、一般にベトナム、ラオス、カンボジア、タイ、ミャンマー（ビルマ）などの地域を指す。

大陸部では前4世紀頃に金属器文化が発達していた。現在のベトナムの中部沿岸地域では鉄器や青銅器、あるいはガラス・貝などを使った装飾品が発見されている。同じ形態の装飾品はカンボジア、タイ、フィリピンなどでも見つかっており、広い範囲の地域間交流があったことが考えられる。

秦の滅亡の時期にベトナム北部で生まれた王国は、南海貿易の拠点として栄えた。<sup>(39)</sup>この国家は前111年に滅亡し、前漢によりいくつかの郡が置かれ、その後永らく中国の諸王朝による支配が続いた。<sup>(40)</sup>この支配の下で紀元後の40年には、徴側・徴武<sup>チユンニ</sup>の反乱とよばれる蜂起が起こり、42年に馬援により鎮圧されるまで頑

強に抵抗した。

2世紀前後には季節風を利用して東西の交易もさらに発展した。この地域には「大秦王安敦」が中国へ派遣した使者も立ち寄ったことが記録されている。その<sup>(41)</sup>後も中国の支配はほぼ継続し、唐の時代には軍事行政機関が現在のハノイの地域に設置された。しかし唐の滅亡とあいまって、1009年にはベトナム地域は自立した。この時に成立した王朝は、<sup>(42)</sup>ダイベト（大越）と称し、南方に支配を広げ、また宋への朝貢を行なうことで交易の活発化を図った。しかし、<sup>(43)</sup>13世紀には軍の一部が反乱を起こすなどして王朝は弱体化し、やがてこの王朝の昭皇は陳太宗に<sup>ナヤンタイン</sup>位を譲り王朝は滅亡した。

一方、現在のタイの地域では<sup>(44)</sup>扶南が1世紀末頃に成立し、海上貿易で繁栄した。3世紀になるとこの国はマレー半島に進出してその東西海岸の諸国を服属させ、また<sup>(45)</sup>クシャーナ朝に使者を送ったことなどが確認されている。

インドやスリランカと中国とを結ぶ交易路については、後述するマラッカ海峡を通過するルートではなく、一部陸路を通過するルートが存在した。これは、マレー半島の東西の岸の一方に陸揚げした交易品を半島の陸路を通じて対岸に運ぶものであった。「梁書」など中国側の書物によると、ここには「頓遜」など<sup>(46)</sup>と記されるような王国が成立していたようである。中国側のそうした史料には「<sup>たら</sup>墮羅鉢底国」という名称も見られるが、これは現在のタイの<sup>(47)</sup>チャオプラヤ川下流域に栄えた王国であると推定されている。

ベンガル湾に注ぐイラワディ川流域には、少なくとも3世紀にはピュー人の国家が栄えており、インドとの交流のなかでその文化の影響を強く受けていた。1044年に成立してビルマ地域を支配した<sup>48</sup>においても、仏教やヒンドゥー教などが信仰された。この東方のミンナントゥ付近には数多くの僧院跡が残っている。この王朝は13世紀後半になると数次にわたる元の侵攻を受けて衰退し、以後は小王国の抗争が続いた。

続いて島嶼部の歴史を振り返ってみよう。ここで言う島嶼部とは、現在のフィリピン、マレーシア、<sup>(49)</sup>シンガポール、ブルネイ、インドネシア、東ティモールなどを指している。島嶼部は香木や香料、<sup>ひすい</sup>翡翠や金などを産出するとともに、マラッカ海峡に象徴される交易路を中心として港市国家が栄えたことで知られてい

る。蒸気やディーゼルにより恒常的に自力走行が可能な船舶が登場する以前には、船は季節風と海流を積極的に利用していた。東シナ海やジャワ海、ベンガル湾方面からの船はマラッカ海峡の港湾で停泊し、航海に適した気候条件が整うまで出航を待ったのである。

14世紀末に建国したマラッカ（ムラカ）は、こうした地理的・気候的な条件の下で、マライ半島南西岸を中心に発展した。この王国は東南アジアの香辛料の集散地としての役割も担った。東西の商人が集まるこの地域では、マラッカ海峡の周辺で話されていたムラユ語が共通の言語となるなど、一つの文化圏が形成された。この文化圏は、ムラユ世界と呼ばれている。

現在のインドネシアの地域においては、7世紀頃からスマトラ島のパレンバンを中心として交易が発展した。一方、ジャワ島では、8世紀にシャイレンドラ朝が成立した。この王朝が建設した**ポロブドゥール遺跡**<sup>(5)</sup>にその繁栄がしのばれる。1293年には、元の干渉を退けてラデン=ウィジャヤがマジャパヒト王国を建国した。この王国は、現在のインドネシアに近い領域に支配を広げ、14世紀には「太平のジャワ」として最盛期を迎えた。

やがて、香辛料貿易とカトリックの布教を目的として、ヨーロッパの商人がこの地で活発な活動を行なうようになった。各地に作られた根拠地から出発した東南アジアの植民地化は、18世紀から19世紀にかけて本格化する。マラッカ海峡のペナン、マラッカ、シンガポールにおいても、一般に「海峡植民地」と呼ばれる植民地が整備されていった。

[設問36] 下線部(36)に関連して、ASEAN（東南アジア諸国連合）は、1967年8月に設立されたが、ASEAN設立時に参加していない国家はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **36** にマークしなさい。

- ①タイ    ②ベトナム    ③フィリピン    ④マレーシア  
⑤インドネシア

[設問37] 下線部(37)に関連して、東南アジアにおける植民地支配や民族運動の歴史に関する記述として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **37** にマークしなさい。

- ①1819年、シンガポールを領有したオランダはここに近代的な都市を建設し、香港とともにアジアへのさらなる進出の拠点とした。
- ②ジャワ戦争を鎮圧したイギリスは1830年代に強制栽培制度を導入し、コーヒーなどの商品作物により大きな利益を得た。
- ③フランスは、3次にわたる戦争でコンバウン朝を滅ぼし、1886年にインド帝国に併合した。
- ④1930年、ビルマでは学生を中心にタキン党が結成され、イギリスの支配に対する独立運動を主導した。

[設問38] 下線部(38)に関連して、韓国では戒厳令下の1980年に光州で軍隊により多くの市民が殺される事件が起こった。いわゆる光州事件である。この事件の後に韓国で起こった出来事として正しいものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **38** にマークしなさい。

- ①日韓基本条約の締結
- ②朴正熙大統領の暗殺
- ③盧泰愚の大統領就任
- ④大韓民国臨時政府の結成
- ⑤朝鮮戦争の開始

[設問39] 下線部(39)に関連して、この王国の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **39** にマークしなさい。

- ①楚    ②黎朝    ③陳朝    ④李朝    ⑤南越

[設問40] 下線部(40)に関連して、前漢により現在のベトナムの地域に置かれた郡の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 40** にマークしなさい。

- ①臨屯郡    ②日南郡    ③楽浪郡    ④酒泉郡    ⑤張掖郡

[設問41] 下線部(41)に関連して、「大秦王安敦」とはローマ皇帝マルクス=アウレリウス=アントニヌスだといわれているが、この人物の著作はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 41** にマークしなさい。

- ①『対比列伝』    ②『告白録』    ③『地理誌』    ④『自省録』  
⑤『国家論』

[設問42] 下線部(42)に関連して、ダイベトという国号はタイソン政権に至るまでのベトナムの諸王朝でも使われた。1802年にタイソン政権を滅ぼした人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 42** にマークしなさい。

- ①阮福暎    ②劉永福    ③ファン=ポイ=チャウ    ④ファン=チュー=チン  
⑤カルティニ

[設問43] 下線部(43)に関連して、13世紀に起こった出来事として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄 43** にマークしなさい。

- ①マムルーク朝の成立  
②第4回十字軍によるコンスタンティノーブル占領  
③アッバース朝の滅亡  
④神聖ローマ皇帝カール4世による金印勅書の発布  
⑤大モンゴル国の創建

[設問44] 下線部(44)に関連して、扶南についての記述として誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 **44** にマークしなさい。

- ①扶南のオケオの遺跡からは、ローマの貨幣や中国の鏡などが出土している。
- ②扶南ではヴィシュヌ神を主神とするアンコールワットが造営された。
- ③扶南はメコン川下流域に建国された。
- ④扶南は真臘により滅亡した。

[設問45] 下線部(45)に関連して、クシャーナ朝で2世紀にカニシカ王が定めた都の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **45** にマークしなさい。

- ①マトウラー    ②パータリプトラ    ③プルシャプラ    ④サールナート
- ⑤プラティシュターナ

[設問46] 下線部(46)に関連して、中国における執筆者と書物の組み合わせとして誤っているものはどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 **46** にマークしなさい。

- ①義浄    —    『南海寄帰内法伝』
- ②玄奘    —    『大唐西域記』
- ③法顯    —    『仏国記』
- ④孔穎達    —    『文選』
- ⑤班固    —    『漢書』

〔設問47〕 下線部(47)に関連して、チャオプラヤ川の流域にはタイの諸王朝が都を置いた。これらのタイの王朝のうち、1351年に建国され1767年まで続いた王朝の名称はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **47** にマークしなさい。

- ①クディリ朝    ②スコータイ朝    ③マタラム朝    ④タウングー朝  
⑤アユタヤ朝

〔設問48〕 空欄 **48** に入る語句はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **48** にマークしなさい。

- ①シュリーヴィジャヤ王国    ②チャンパー    ③チョーラ朝  
④ヴァルダナ朝    ⑤パガン朝

〔設問49〕 下線部(49)に関連して、シンガポールで1965年に首相になった人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **49** にマークしなさい。

- ①スカルノ    ②スハルト    ③リー=クアンユー    ④ゴ=ディン=ジエム  
⑤ホー=チ=ミン

〔設問50〕 下線部(50)に関連して、ポロブドゥール遺跡は1814年に発掘されたが、この時期のジャワ島の植民地経営に関わっていた人物の名はどれか。もっとも適するものを次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** **50** にマークしなさい。

- ①マカートニー    ②ホセ=リサール    ③アギナルド    ④ラッフルズ  
⑤ゴードン